

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	愛知淑徳大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	アイチシュクトクダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ概論、インターンシップ研修
	学部・研究科等名	全学部
	担当教職員名・役職	川上知子・助教福田紗也・助教
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	140
	受入企業等数	112
	受入企業等名	株式会社日本旅行、株式会社創寫館、岡崎商工会議所、ヒルトン名古屋、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド、リゾートトラスト株式会社、損保ジャパン日本興亜株式会社 他105社
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	サービス業界の企業ではOJTを中心とした接客やバックヤード業務、製造業界やIT業界の企業では、大学での専門分野を活かした技術的、クリエイティブ業務を行う。また、就業体験に加えて、改善提案のプレゼンテーションを行ったり、社員とのディスカッションを行うという研修も多くみられる。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		2年次～3年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		2～3年生を対象に、夏季休業期間中及び春季休業期間中の5日間～2週間のインターンシップをアクティブラーニング科目「インターンシップ研修」として実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他

③	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	担当教員と学生がメール・電話で連絡を取り合うと共に、担当教員が研修中に企業に赴いているケースもある。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ概論」という科目(2単位)の履修を義務付けており、全15回の講義の中で、インターンシップの意義・目的の理解、マナー研修や業界研究、さらには外部講師を招いて講演等を実施し、学生のインターンシップへ取り組む意識やスキルを高めている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ研修に行く前に学生の目標を明確にさせ、研修中は日誌を記すことにより、毎日目標達成の状況や自身の成長を振り返らせている。研修後は、報告書を提出させ、報告会を実施している。また、年に1回、企業担当者100名以上を招いて「インターンシップ公開報告会・交流会」を実施し、学生に研修の成果を発表させている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	担当の教員が、研修前にオリエンテーションを実施し、研修中の留意点、事前訪問、お礼状の送付等の指導を実施している。研修中は、メールと電話で学生と連絡を取り合い、研修状況を確認している。土日・祝日等、キャリアセンターが開いていない場合の緊急連絡先として、主担当の教員が緊急連絡用の携帯電話を所持し、万が一の場合に備えている。また、研修中に研修機関を担当教員が訪問し、学生との面談、研修の視察、研修機関担当者と情報共有を行う場合もある。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「進路選択に対する自己効力」を研修前と研修後のそれぞれでアンケートを実施・測定・比較し、その結果をインターンシップ公開報告会で企業に報告すると共に「アクティブラーニング」という学内論文誌に掲載し公表している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間～15日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間～15日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全体の約65%の企業が5日間～9日間の研修を実施し、約35%の企業が10日間～15日間の研修を実施している。愛知中小企業家同友会と協働して実施した研修では「キックオフセミナー」「修了式」を含め12日間の研修を実施した。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	愛知中小企業家同友会と協働して実施しているインターンシップでは、企業担当者・大学教員・学生が集まり「キックオフ」「修了式」を実施している。また「インターンシップ概論」では、企業のインターンシップ担当者を招き、学生との交流を図っている。研修後には、企業担当者から「評価書」を提出いただき、学生の振り返りと今後の成長に関与していただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://pnavi.aasa.ac.jp/syllabus/search/view/syllabusDetail.php?cd=393640&page=3 http://pnavi.aasa.ac.jp/syllabus/search/view/syllabusDetail.php?cd=393641&page=3
問	大学等名 担当部署名	愛知淑徳大学 キャリアセンター

問い合わせ先	担当者役職名	助教
	担当者氏名	福田紗也
	電話番号	052-782-6035
	メールアドレス	fukudas@asu.aasa.ac.jp